



THE Y'S MEN'S CLUB OF

TOKYO HIGASHI

CHARTERED 1988

2016-2017年度  
10月号  
NO. 325

〒135-0016 江東区東陽 2-2-20 東京 YMCA 東陽町センター内 TEL 03-3615-5568

強調月間

EMC-E  
YES

国際会長：Joan Wilson(カナダ) 主題：「私たちの未来は、今日より始まる」  
アジア地域会長：Tung Ming Hsiao(台湾) 主題：「ワイズ運動を尊重しよう」  
東日本区理事：利根川恵子(川越) 主題：「明日に向かって、今日動こう」  
関東東部部長：片山 啓(茨城) 主題：「組合せされ、結び合わされ、造り上げられてゆく」  
東京ひがしクラブ会長：鮎澤正和 主題：「変化と継続！クラブ丸！パートII」

9月例会報告

10月例会  
(江東・ひがし・ベイサイド合同)

と き 2016年10月20日(木)  
PM7:00~9:00  
ところ 東陽町センター「視聴覚室」

受付：3クラブ会計  
司会：篠田秀樹(江東)

☆プログラム

開会点鐘 江東クラブ会長 相川達男  
ワイスソング/ワイズの信条  
開会挨拶 相川達男会長(江東)  
鮎澤正和会長(ひがし)  
峯岸友彦会長(ハッパ)

ゲスト紹介

食前の感謝

今月の誕生日・結婚記念日

ゲストスピーチ

「まぐろの話と築地移転問題」

生田與克氏

築地マグロ仲卸三代目店主。かしこく食べて魚をふやす。日本の魚を取り戻す「シーフードスマート」代表理事。築地移転問題で頻りにテレビ出演。

スマイル

各種報告

閉会点鐘

鮎澤正和会長

副会長 須田哲史

9月例会は、東陽町ウエルネスセンター(以下、「東陽町センター」)の移転問題の結果を受け、東京ひがしクラブメンバー全員で、今後のクラブ運営の方向性を検討する時間を持ちました。討議に入る前に、沖担当主事、金丸メン、鮎澤会長から以下の三つのテーマで発題いただき、その後、全員での話し合いに入りました。

東陽町センターの移転について(沖担当主事)

紆余曲折あったが、周知のとおり、東陽町センター1~2階部分は引き続き賃借、3階以上をゴールドジムが借用することでほぼ固まった。

元の形にほぼ戻ったというのではなく、新生の東陽町コミュニティセンターとして、より地域活動、会員活動を、積極的に展開できるようなセンターにしていきたいとスタッフも考えている。学校事業部門のスタッフも会員活動に、従来以上に積極的に関わり、学生の成長の場としても捉えていきたい。「つくる、つながる、ひろがる」といったコンセプトで、地域の人から「あそこに行けば何かがある」と思われるような開かれた場所にしていければと願っている。

東陽町センター開設からの経緯を踏まえて(金丸メン)

東陽町センター開設と同時にできた東京ひがしワイズの創設時入会のメンバーだからこそ、東陽町センターをサポートするクラブであるという使命感で、ずっとやってきた。

そのモットーは、「楽しく、皆で一緒にやっつけていこう!」だった。その中で、様々なイベントを立ち上げ、実施してきたので、東陽町センターを強く支えてきた自負もある。新生東陽町コミュニティセンターの中の

9月例会

出席者 9名 ネット 1名  
会員出席数 8名 ゲスト 名  
在籍数 11名  
(広義会員2名) メンシップ 名

会員出席率 89%

スマイル

9月 7,000円

累計 13,440円

2016-2017年度役員

会長 鮎澤正和  
副会長 須田哲史  
書記 金丸満雄  
会計 野本多美子  
担当主事 沖 利柯

今後の方向性や、クラブ内の課題（高齢化等）も今後の課題として認識している。

### クラブ会長の立場から（鮎澤会長）

関東東部の中で見れば、東京 YMCA の 1 サポートクラブにすぎないかもしれないが、東陽町センターにとっては中心的

な存在。東陽町はひがしクラブがないと何もできないという自負もあった。しかし、広くコミュニティ活動を行うためには、ワイズ以外のボランティアも必要であろう。その人たちとワイズとの間に YMCA や活動に対する取組や考え方のギャップなどが生まれてこないようにしなければならない。

上記の話をお聞きした後、各メンバーがそれぞれの思いを語った。

- ・今回の移転問題が持ち上がり、学校部のスタッフも大きく意識が変わってきて、会員の必要性を、今更ながら、再認識した人もいます。学生も積極的にイベントに出席し、会員の方と交流しているように、今後も、YMCA らしい特色ある学校にしていきたい。
- ・YMCA のイベント等には、声がかかれば、必ず、手伝ってきた。これからも、その気持ちは変わらない。
- ・ひがしクラブの中で、どの活動に集中選択して残していくかを考えた時、やはり、「ピースウォーク」であり、重要なプログラムであり、これからも大切にしていきたい。
- ・東陽町センターという場所があるから、地域の子どもからお年寄りまでの居場所になっている。集える場所があることは大切である。残って良かった。
- ・クラブでできた良き友や YMCA とのつながりを失いたくない。クラブの活動として、いじめや自殺の問題に取り組めないか。行政がやりたくてもできないようなことも活動も大事。これからは、ひがしワイズの出番である。高齢化で身体が動かなくなったら、ノウハウを伝えていくなど、アドバイスもできる。
- ・建物の躯体は 50 年、施設は 25 年。東陽町センターの 10 年後の拠点についても、同時に考えていかねばならない。
- ・YMCA の管理運営面にも、ボランティアの力を生かし、一緒に作り上げていくべき。
- ・新生東陽町センターとあるように、新生ひがしクラブがあってもいいのでは。
- ・として行っていくことも必要。
- ・やはり若手を入れていくべきである。今、若手がいなくても、いる前提でクラブ運営を考えていくべきである・・

等々。熱い話し合いは、尽きなく、今後の方向性のまとめは、次回に持ち越しとなりましたが、今後のかじ取りを大きく決めるにふさわしいものとなりました。



担当主事 沖 利柯

### ▼チャリティーランについて

9 月 22 日に予定されていた「第 30 回インターナショナルチャリティーラン」は、荒天のため急遽中止となりました。雨の中ご足苦勞いただいた皆様には大変ご迷惑をおかけいたしました。30 回にして初めての中止で、至らないことが多く本当に申し訳ございませんでした。そのような中、ひがしクラブで作っていただいた暖かい餃子は、冷たく冷え切ったボランティアの方々の体を温めてくれました。本当に有難うございました。この反省を次回に生かして、さらなる良い大会にして参りたいと思います。今後ともご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

### ▼国際協力募金報告

9 月 10 日、新宿駅前で恒例の国際協力街頭募金が行われました。会員、園児、学生、ボランティアリーダー、ワイズメンなど 162 人が炎天下のもと呼びかけた結果、146,684 円が寄せられました。寄せられた募金は、主にバングラデシュ YMCA の子どもや若者を支える活動のために用いられます。

### ▼ブランディング情報

YMCA のブランド再生をテーマに、一昨年からの全国の YMCA で「ブランディング」への取り組みが始まっています。9 月 10 日、東陽町センターを会場に「ブランドコンセプトの発表とわかち合い」が行われ、主に東日本地区の 13YMCA から 71 名が参加。昨年末に行なった 10,000 人イメージ調査などの内外調査の結果や、そこから明らかになった課題が共有され、それらをもとに導き出された新たなブランドコンセプトが分かち合われました。今後、このブランドコンセプトに、YMCA の実施する活動や事業を照らし合わせ、一つひとつの質を改めて点検していくこととなります。来年 10 月には、全国 YMCA のブランドスローガンが示され、ロゴマークも統一される予定です。

### ▼YMCA/YWCA 合同祈禱会

テーマ：「誰も置き去りにしない」 Leaving No One Behing

YMCA/YWCA では毎年 11 月に合同祈禱週を定め、世界中の仲間たちが一斉に祈りの時を持ちます。東京では「東京 YMCA」「東京 YWCA」「在日本韓国 YMCA」の合同で、下記の通り開催します。ともに平和を求め、祈りを合わせたいと思います。どなたでもご参加いただけます。11/10 日（木）までに総務部までご連絡下さい。

【日時】 2016 年 11 月 17 日（木） 18：30～20：30

【会場】 在日本韓国 YMCA 9 階

\*JR 水道橋駅下車徒歩 5 分

\*地下鉄神保町駅下車徒歩 7 分

【メッセージ】

大久保正禎氏

日本基督教団王子教会牧師

「ひとりを探しにいかないか？」



### ✠ 今月の聖句 ✠

『わたしたちが持っているこの希望は魂にとって頼りになる、安定した錨のようなものである。』

—ヘブライの手紙 6 章 19 節—

### ★今月の誕生日

飯田歳樹メン（16 日）

### ♥結婚記念日

奥峪 力・添子ご夫妻（2 日）

須田哲史・由美子ご夫妻（8 日）

